

ほんがいっぱい



よんでみよう!

ねんせい 1・2年生のための本

①『どろんここぶた』

アーノルド・ローベル／作 きく きしだ えりこ やく 岸田 衿子／訳 ぶん か しゅつぱん きょく 文化出版局 《A E 〇》

こぶたがなによりも好きなのは、やわらかいどろんこのなかにしずんでゆくことです。しかしある日、だいすきなどろんこがなくなってしまいました。おひやくしようのおばさんがおおそうじをしたのです。おこったこぶたはうちをにげだして…。



②『ツトムとでんしゃのカミサマ』

にしかわおさむ／ぶん・え こ みね しよてん 小峰書店 《A F 二》

かぜがきもちいいはるのよる、ガタンゴトンとゆれるでんしゃのなかで、ツトムはゆめをみました。ひっこしでわかれたきりのハルちゃんが、にこにこことツトムにわらいかけているのです。なつかしいゆめからさめたツトムのまえにいたのは、なんとでんしゃのカミサマでした!

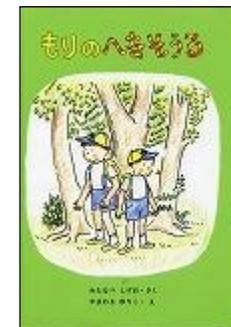


ところざわ しりつところざわ と しょかん
所 沢市立所 沢図書館 2017年

③『もりのへなそうる』

わたなべしげお／さく やまわきゆりこ／え ふくいんかんしよてん 福音館書店 《A F 七》

てつたくんと みつやくんは、がようしに ちずをかきました。そのちずと、おかあさんがつくってくれた サンドイッチをもって たんけんにかかけました。すると、あかと きいろの しまもようのおおきなたまごを つけました。つぎのひ、また もりへいくと、たまごのあったところに へんなどうぶつがいたのです!



④『おしろのばん人とガレスピー』

ベンジャミン・エルキン／ぶん こ みやゆう ジェームズ・ドーハーティ／え だいにっほん としよ 小宮由／やく 大日本図書 《A F 八》

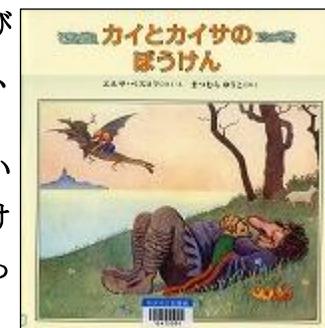
おしろのばん人は、せかいでいちばん目のいい三きょうだい。ある日、王さまは、この三人をだませたものに、金のメダルをおくことにしました。ところが、だれもばん人をだますことができません。そんなある日、まい日おしろであそんでいたガレスピーがいいことを おもいつきました。



⑤『カイとカイサのぼうけん』

エルサ・ベスコフ／さく・え まつむらゆうこ／やく ふくいんかんしよてん 福音館書店 《E 六》

カイとカイサが たおれていた かれきに とびのると、かれきは、「かれきドラゴン」と なって、ふたりを のせたまま そらへまいあがりました。うみをこえて、ちいさなしまにつくと、ないている おひめさまが いました。おひめさまを たすけにきた わかものが、トルルのおりに とじこめられているのです。



⑥ 『みみずくのナイトとプードルのデイ』

ロジャー・デュボアザン／さく あんどうのりこ 安藤紀子／やく しゃ ロクリン社 《Eデ》

みみずくのナイトは、よるに かりをします。プードルのデイは、ひるまに あそびます。ある日のゆうがた、きつねにたべられそうになったナイトをデイがたすけたことで、ともだちになりました。でも、おきている じかんが ちがうのに、どうやったら また あえるでしょうか？



⑦ 『いそあそびしようよ！』

はたこうしろう／作・絵 おくやまえいじ さく 奥山英治／作 しゅつぱん ほるぷ出版 《48》

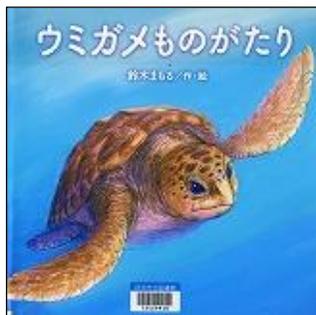
なつやすみは うみで あそぶ。でも、かいすいよくじゃないよ。いわがっぱいの「いそ」や、しおがひいたあとにのこった「しおだまり」で、いそあそびするんだ。いそには、ヒトデや かい、かになど、いろんな いきものがある。イソギンチャクにさわったら、ゆびに すいついたよ！



⑧ 『ウミガメものがたり』

すずき 鈴木まもる／作・絵 さく え どうしんしゃ 童心社 《48》

だれもいない なつよる、ウミガメのおかあさんは、すなはまに たまごをうみます。やがて、たまごから かえった子ガメたちは、だれにも おそわらないのに、うみにむかいます。カニやとりに たべられないように うまくにげ、ながいたびにでるのです。



⑨ 『人形の家にすんでいたネズミ一家のおはなし』

マイケル・ポンド／文 にんぎょう いえ エミリー・サットン／絵 いっか 早川敦子／訳 はやかわあつこ 徳間書店 《Eサ》

ネズミのペックさん一家は、大きなおやしきにある人形の家で、しあわせにくらしていました。ところがある日、「こんな人形の家は、どこかへやってしまえばいい」というこえがきこえてきました。さあ、たいへん！ そこで子ネズミたちは…。



⑩ 『ちびっこタグボート』

ハーディー・グラマトキー／さく がくしゅうけんきゅうしゃ わたなべしげお／やく しゅつぱん 学習研究社 《AFク》

ちいさなタグボートのトゥートウは あそんでばかり。みんなは おばかさんだと からかいます。トゥートウは、りっぱにはたらくとうさんみたいになるぞ、とこころにきめました。

⑪ 『プーのはちみつとり』

A. A. ミルン／ぶん いわなみしよてん E. H. シェパード／え いし いもも こ 石井桃子／やく いわなみしよてん 岩波書店 《AFミ》

プーが、ハチのミツをたべようと木にのぼったら、えだがおれておっこちてしまいました。そこで、大きなふうせんにつかまって空へあがることにしました。

⑫ 『くいしんぼうのはなこさん』

いし いもも こ いしいももこ／ぶん ふくいんかんしよてん なげだちよこえ 福音館書店 《Eナ》

めうしのはなこは とてもわがまま。ぼくじょうでおいしいものをひとりじめしたつぎの日、はなこのおなかがふくらんで…。

⑬ 『やさいのはな』

はな はにしゃぼう 埴沙萌／写真 しまだやすこ 嶋田泰子／文 ふん ポプラ社 《62》

ゴボウにも花がさくってしてた？ レタス、ニンジン、タマネギ… いろいろなやさいのはなをみてみよう。

⑭ 『はじめてのかり』

よしだとおし よしだとおし／絵 え ぶん え ほんじゅくしゅつぱん 絵本塾出版 《Eヨ》

さんびきの わかいライオンが、はじめて かりにでかけました。でも、シマウマにはにげられてしまいました。そこで、ヌーのむれを はさみうちにすることにしました。

⑮ 『うまかたやまんば』

さいわ おざわとしお／再話 あかばすえきち 赤羽末吉／画 ふくいんかんしよてん 福音館書店 《M》

ひとりのうまかたが、はまでさかなをとってかえるとちゅう、やまんばにおそわれた。さかなもうまくわれてしまったが、それでもやまんばはおいかけてきて…。